## JA全語

地域の話題や活動のこ報告 今後のお知らせなど JA全農とくしまと、あなたをつなぐ コミュニケーション情報誌

## とくしま作品表

2022 **11**月号



第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会徳島県代表牛出発式(吉野川市)

#### マンスリーレポート ---

- ·第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会
- ・食料安全保障シンポジウム
- ・あすたむらんど徳島で「阿波ふうどフェスティバル」
- ・NHK「ギュッと四国」でなると金時を紹介
- ・京都の小学生が農産物の食育学習
- ・第47回にしのみや市民祭りで徳島県産青果物をPR
- ・令和4年度JAグループ担い手アグリサミット
- ・JAアグリあなんJGAPグループ「GAP実践大賞」受賞

#### 旬の野菜でおうちごはん ――

大根とりんごのサラダ

#### 浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 ――― 8

・その® ~れんこんは漢方食品にも~

#### 交通安全のお知らせ —

・飲酒運転の根絶に向けて

#### トピックス -

・営農コラム



#### マンスリーレポート

~第8区1等賞に北谷昌也さん~

#### 第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会

10月6日~10日、鹿児島県で第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催されました。これは「和牛のオリンピック」とも呼ばれ、5年に一度、改良の成果や優秀性を競うために全国の和牛が一堂に集まる大会です。

大会には徳島県代表として吉野川市の北谷昌也さんの牛(丸正312)が「肉牛の部」第8区(去勢肥育牛)に参加し、肉量、肉質に加え今回から審査対象となった脂肪の質(MUFAの含有率)が評価され優秀な成績を収めました。

なお、大会に先立ち10月3日には吉野川市美郷の北谷さんの牛舎で、ご家族、従業員、徳島県、JA、JA西日本くみあい飼料、当県本部米穀畜産課職員など関係者により、上位入賞を祈念して出発式がおこなわれました。

県本部では今後も生産者や畜産関係者と一丸となり、県産ブランド和牛を積極的にPRし、認知度向上、畜産振興を図ってまいります。



徳島県代表となった北谷さんの牛(丸正312)



関係者による出発式

~JAグループなど持続可能な「徳島宣言」を採択~

#### 食料安全保障シンポジウム

10月14日、JA徳島農政協議会などは、徳島市内のホテルで農畜水産物の生産基盤強化と地産地消の促進等の取り組みを今まで以上に強靭なものとするために「食料安全保障シンポジウム」を開催し、JAグループ関係者をはじめ各分野の関係者約370人が参加しました。

シンポジウムでは、東京大学大学院農学生命科学研究科の鈴木教授の基調講演に続き、勝野徳島県副知事、エームサービス株式会社の江林常務執行役員から講演がおこなわれました。

その後パネルディスカッションでは株式会社日本農業新聞の田宮 常務取締役をコーディネーターとして「食料確保に向けた国への期 待と我々が取り組むべきこと」について各分野の代表者から取り組み 報告と持続可能な食料生産に必要な方策について意見を交わしま した。

JA徳島中央会の橋本浩副会長は「10月を国消国産月間と位置付け理解を醸成し、農家所得の向上へより高値販売できるよう努める」とJAグループの取り組みを報告しました。

また、JA徳島農政協議会の中西庄次郎会長(代理橋本副会長)をはじめ当県本部長江郁哉県本部長など関係者により、安全・安心な食の確保と持続可能な農畜水産業実現を目指す「徳島宣言」が採択されました。



シンポジウムの様子



関係者により採択された「徳島宣言」

~徳島県産食材をPR~

#### あすたむらんど徳島で「阿波ふうどフェスティバル」

10月22日~23日の2日間、板野郡板野町のあすたむらんど徳島で県産食材の魅力発信や需要喚起を目的に「阿波ふうどフェスティバル」 (徳島県主催)が開催されました。

イベントでは、11台のキッチンカーや飲食など14のテントブース、また県のPRトラック「でり・ばりキッチン阿波ふうど号」も来場し、県産食材を使った料理やスイーツ、農産品などの販売や試食の提供がおこなわれました。

当県本部のテントブースでは、なると金時、スダチ、レンコン、シイタケ、ブロッコリーといった農産物やなると金時の焼き芋やスダチジュー

スなど、県産農産物品の美味しさや魅力を販売を通してPRしました。

2日間にわたり、吹奏楽の生演奏や大道芸などのパフォーマンスショーなどもあり、秋晴れの下たくさんの来場者で賑わいました。



知事も県のPRトラックで試食を配布



来場者へ焼き芋を販売する職員



当県本部など14のブースが並んだ芝生広場

~なると金時の美味しさの秘密は~

#### NHK「ギュッと四国」でなると金時を紹介

10月29日(AM7:30~8:00)放送のNHK松山放送局制作「ギュッと四国」で徳島県産「なると金時」が紹介されました。

収録は10月14日、JA里浦の生産者原田啓作(株式会社原田農園) さんの圃場(鳴門市里浦町)にNHK徳島放送局の日笠キャスターが訪れ、なると金時の収穫の様子や貯蔵庫での保管の様子などを紹介しながら特徴や栽培方法について原田さんにインタビューをおこないました。原田さんは、「品質を落とさず長期間貯蔵し熟成することによって、澱粉が糖に変わることでより甘さが増します」など、甘く美味しいなると金時が育つ環境や栽培へのこだわり、貯蔵方法などについて熱く話されていました。

また17日にはJA里浦ファームの調理室で、すだちSUムリエの武岡泰子さんが「なると金時」を使った「焼き芋」と「なると金時の揚げだし」の調理をおこない、視聴者に「なると金時」の黄金色でホクホクした食感や美味しさを発信しました。



なると金時の揚げだし



日笠キャスターのインタビューに答え 魅力を伝える原田さん(左端)



なると金時の美味しい食べ方を教えていただいた 武岡さん(左)と日笠アナウンサー

#### マンスリーレポート

~栽培体験を通して食の大切さを伝える~

#### 京都の小学生が農産物の食育学習

当県本部は、子供たちが農産物の栽培体験を通して食の大切 さを学び、健全な食生活を実践できる人に成長することを支援 するため食育学習会を実施しています。

#### ◆大根栽培学習会

10月6日、京都青果合同株式会社、徳島県関西本部、タキイ 種苗株式会社に協力をいただき京都市内の2校で大根の食育 授業をおこないました。

《京都市立朱雀第三小学校 参加者:5年生44人》 《京都市立光徳小学校 参加者:5年生59人》

この日の授業は両校とも9月22日に播種作業をおこなった大 根の間引き作業となり、児童たちは校内の圃場でタキイ種苗株 式会社の平松技術員から間引きについての説明を受けました。 説明のあと、児童たちは積極的に間引き作業をおこない、お互 いにどれを間引きするか教えあうなど、農作物ができるまでの 過程を体験しながら学べる授業となりました。



大根の間引き方について説明を受ける児童(朱雀第三小学校)



間引き作業を行う児童(光徳小学校)

#### ◆さつまいも収穫祭

10月20日、京都市伏見区の京都市立石田小学校において、 JA 里浦、京都青果合同株式会社、徳島県関西本部、野菜ソム リエプロ谷本さんの協力のもと、同校校長や教職員、2年生25 人が参加し「さつまいも収穫祭」をおこないました。

校庭には徳島県のPRトラック「でり・ばりキッチン阿波ふう ど号」も来場し、児童からは歓迎のダンスが披露されました。 同校の児童たちは今年5月にオンライン授業などで指導を受け ながら植え付けをおこない、大切に育ててきました。

会場となった体育館には徳島県のマスコットキャラクターす だちくん、JA里浦の坂東職員(オンライン)、当県本部大阪事務 所の平嶋職員も参加し、なると金時や県産青果物の説明をおこ ないました。続いて、野菜ソムリエプロの谷本さんからの美味し い食べ方や栄養の説明などもありました。また会場には児童が 収穫したサツマイモも展示していました。

児童たちには阿波ふうど号で調理した焼き芋とアメリカンス イートポテトが振る舞われ、園芸部、徳島県、徳島県青伸会から は、スダチ飲料(ザすだち)やすだちくんグッズなどのプレゼント もあり楽しい収穫祭となりました。



ダンスを披露する児童たち



県のPRトラック「でり・ばりキッチン 阿波ふうど号」も来場



児童たちが収穫した



谷本さんが美味しい食べ方 などを説明



児童たちからお礼の言葉

#### Monthly Reports

#### ◆菌床椎茸農育授業(京都市立安朱小学校)

10月28日、JA徳島市、京都青果合同株式会社、徳島県関西本部の協力のもと、京都市山科区の京都市立安朱小学校において、菌床椎茸農育授業を実施しました。

授業では、JA徳島市の三木職員が、2年生25人を対象に、オンラインで菌床椎茸の生産方法や特徴などの説明をおこないました。

児童からは、生産量や種類、栄養、食べ方なとの質問があり、 徳島県産の菌床椎茸に大変興味を持ってもらえました。

その後、参加者全員に1個ずつ菌床ブロックが配られ、児童 たちは三木職員の栽培指導のもと、菌床を袋から出して叩いた

あと、水を与える作業をおこないました。菌床ブロックは今後廊下の保管場所で水やりをおこない管理するということで、1月下旬ごろの収穫をとても楽しみにしている様子でした。



廊下の保管場所へ菌床ブロックを置く児童



オンラインでの授業の様子



菌床ブロックを叩く児童たち

~徳島県産野菜が大好評!~

#### 第47回にしのみや市民祭りで徳島県産青果物をPR

10月22日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会は、兵庫県西宮市の市役所本庁舎周辺で開催された「第47回にしのみや市民祭り」に出展し、徳島県産青果物の販売とPRをおこないました。

このイベントは、西宮市を中心に多くの市民団体が参加しており、 当協議会は市役所敷地の徳島県のブースにおいて、西宮中央青果 市場協力のもと、なると金時、レンコン、茄子、シイタケといった青果 物やスダチ飲料「ザすだち」を販売しました。

また、地元のケーブルテレビ局の生中継インタビューにすだち大使の古川舞佳さんが出演し、スダチをはじめとした徳島県産品のPRをおこないました。

その他にも、別会場で開催された「Dancing☆甲子園☆」において、来場者にはスダチの小袋をプレゼントし、表彰式ではすだち大使から優勝チームになると金時やスダチ、すだちくんグッズを贈呈しました。

当日は1万8千人の来場があり、本県のブースでは15時頃には全ての商品が完売するなど大盛況でした。



販売ブースの様子



徳島県産品のPRを行うすだち大使の古川さん

#### マンスリーレポート

~「食と農と未来をつなぐ」~

#### 令和4年度JAグループ担い手アグリサミット

10月26日~27日の2日間、JA全農(中四国広域営農資材事業所・広島県本部)は、広島県東広島市のJA西日本営農技術センターで「令和4年度JAグループ担い手アグリサミット」を開催しました。

今年で7回目となる当サミットは「食と農と未来をつなぐ」を テーマに、中四国地区の担い手農業者、JA関係者への生産・販 売・農業経営に関する事例紹介や労働力の軽減・省力化につな がる最新技術や情報について展示、実演、セミナーが開催され、 2日間で合計約1,100人が参加しました。徳島県からはJAや生

産者、当県本部職員など24人 が参加しました。

会場では、ドローンや無コーティング直播の実演、鳥獣害対策や水稲の病害虫・雑草対策セミナーなどを参加者が熱心に受講するなど、たいへん賑わっていました。



最新技術や情報などの展示や実演が 行われた会場の様子



広島県で開催されたJAグループ担い手アグリサミット



セミナーを受講する参加者

~GAPのモデル的な実践事例となる認証農場の取り組み~

#### JAアグリあなんJGAPグループ 「GAP実践大賞」受賞

10月28日、東京都江東区の有明セントラルタワーにおいて、 (一財)日本GAP協会主催のGAPJAPAN2022が開催され、JA アグリあなんJGAPグループが「GAP実践大賞」を受賞しました。

選考にあたってはGAPのモデル的な実践事例となる認証農場の取り組みが高く評価されました。

GAP(Good Agricultural Practice)とは農業の持続性に向けた取り組みのことで、JAアグリあなんのすだち部会は消費者の食の安全安心に対する意識の高まりに対応するため従来の生産工程に加え、適切な生産工程管理を目に見える形で行うGAP認証制度を取り入れ、産地の信頼を高めることを目標に令和元年にJGAP団体認証を取得しました。

当初16農場から始まった取り組みも現在では40農場を越えるまで伸ばしており、認証取得により国際競技(東京大会)への食材提供や大手小売店等との取引が実現しています。



「GAP実践大賞」受賞式で表彰される JAアグリあなん田中常務(中)、湯浅経済部長(右)

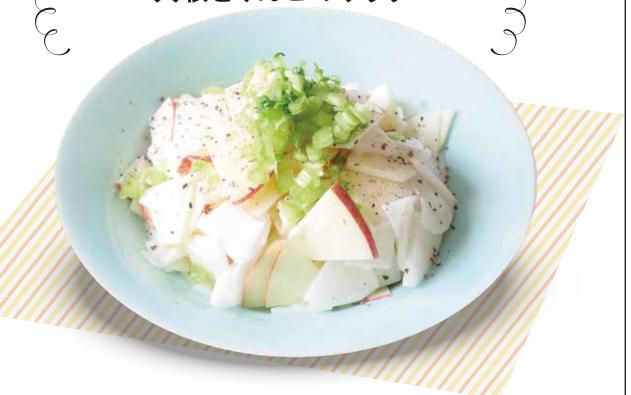


取り組みについて講演を行う湯浅経済部長

#### √旬の野菜でおうちごはん ト

料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介!





#### ▼材料(2人分)

大根(葉付き) .....1/4本 りんご ……1/2個

マヨネーズ・・・・・・・・・・・・ 適量 塩、こしょう・・・・・・ 各少々









#### ▼作り方

① 大根は皮を剥いて イチョウ切りにし、 塩(少々)でもむ。

② りんごは皮付きのまま イチョウ切りにし、 塩水に浸す。

③ ①と②の水気を取って Aを混ぜ、葉を刻んで 塩(少々)でもみ、 上にのせる。



皮は厚めに剥くと繊維質 が歯に残らず食べ易い。





◎免許:調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー ◎賞:2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴:TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演/ラ ジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント: 大阪ガスハグ ミュージアムにて鱧を使った爽やか料理講習会/大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習 会 ◎カルチャー講師:兵庫イオンカルチャー(姫路、加古川、明石の3店舗)講師/神戸市立長田区勤労 センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など



徳島県の農産物と食

#### ※ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記





#### ~れんこんは漢方食品にも~

#### ◆亭主元気で留守がいい◆

#### 11月8日は 徳島県れんこんの日



愛する妻が『春には 「年なしチヌ(黒鯛) じゃ」 夏には、「イカの王様ケ ンサキイカが一番甘いん じゃ」「パンパンなイサ ギの白子はフグの白子よ りうまい」「キハダマグロ はリールが巻けん」と 言っていましたけど。秋 冬になると「磯はグレ」 なんですね。結局、1年中

釣りですね。私はアジが好きですけど』…。私から「亭主元 気で留守がいいんだろ」と返す家庭円満?な夫婦である。 「ちょっとは家のことも手伝わんとなあ」と、猿のように反 省したふりをして、妻にあきれられるのも日常である。

#### ◆「ん」で風邪予防◆

「冬になると、魚が傷まないのでいいんじゃ」とまたして も釣りの準備。1年で夜が一番長い日は『冬至』。今年2022 年の『冬至』は12月22日。この日には昔からの言い伝えが ある。冬至の日に「ん」が付く食べ物を食べると風邪ひかな い。と言うことだ。風邪を引かない「ん」の魚ってなんだ? 魚のことを「びんび」って言うから、冬至には魚全般「ん」 が付くのでどんな魚でも食べたらいいのだ。農作物では 「ん」の付くものってなんだ?

#### ◆レンコン食べて風邪対策◆

そういえば、冬には、じいちゃんの栽培したレンコンをよ く食べていた。「ん」が付くじゃやない。鳴門の、れ「ん」こ 「ん」。板野郡の、に「ん」じ「ん」。冬至には、カボチャ=な 「ん」き「ん」って、言うしね。き「ん」か「ん」や、茶碗蒸しの、 ぎ[ん]な[ん]もええよね。デザートには、か[ん]て[ん] 食って風邪対策じゃ。根拠はあるのかな?

#### ◆どうして風邪にいいの◆

これらの食べ物は、手荒れや、お肌に効く、いろんなビタ ミンたっぷりやし、ミネラルや繊維質も豊富だからだろう な。れんこんは漢方食品としても利用されているって聞く し。今日は鳴門発祥の、なるちゅる、う「ん」ど「ん」の、れん こんトッピングを食べよう。今回は親父ギャグがなくて、ご めん」。



#### 飲酒運転の根絶に向けて

飲酒運転の死亡事故率は約9.5%と、飲酒なしの場合(約1.4%)と比べて約6.8倍も高く、飲酒運転 は極めて危険性が高い悪質な犯罪です。悪質・危険な飲酒運転を防止するため、地域ぐるみで「飲酒運転を絶対にしない、させない」という環境づくりに取り組みましょう。

#### 飲酒運転はなぜ危険なのか?

アルコールは麻痺作用があり、脳の働きを麻痺させます。お酒に酔う と、顔が赤くなる、多弁になる、視力が低下するなどの変化が現れ始め、 さらに知覚や運転能力をつかさどる部分が制御されることにより、同じ話 を繰り返したり、足元がふらついたりします。このように、飲酒時には安全 運転に必要な情報処理能力、注意力、判断力が低下している状態にな ります。

具体的には、

- ○気が大きくなり速度超過等の危険な運転をする
- ○車間距離の判断を誤る
- ○危険の察知が遅れたり、危険を察知してからブレーキを踏むまで の時間が長くなる

など、飲酒運転は交通事故に結びつく危険性を高めます。少しの 飲酒でも運転は絶対に禁止です。

- 2 酒気帯び運転等の禁止(罰則・行政処分関係)
  - ◎酒酔い運転

5年以下の懲役又は100万円以下の罰金 点数:35点 免許取消し(欠格期間3年)

#### ◎酒気帯び運転

3年以下の懲役又は50万円以下の罰金 点数:呼気1ℓ中0.15~0.25mg未満

13点(免許停止期間90日)

呼気1ℓ中0.25mg以上

25点 免許取消し(欠格期間2年)

※免許取消し及び免許停止期間は前歴・その他の累積点数がない場 合です。

#### 車・酒の提供者、同乗者への罰則

飲酒運転はもちろんのこと、次の行為についても法律で禁止されてお り、運転者と同等の罰則があります。

- ・飲酒運転を行うおそれのある者に対し車両又は酒類を提供する
- ・飲酒している者に自己の搬送を依頼して車両に同乗する行為

翌日運転する予定があれば、それを考慮した 飲酒時間、飲酒量を心がけましょう。

徳島県警察本部 交通企画課



#### 営農コラム ナンテン(南天)

営農支援課 技術主管 森 聡

鮮やかな紅葉の季節も終わり、彩りの乏しく なった冬の時期に、ナンテンの美しい紅葉を目に するとうら寂しい心が癒されてきます。

ナンテンは「難を転じて福となす」という語呂合わせから魔よけの縁起木とされ、玄関周りに植えたり、正月飾りやおせち料理の飾りなどに用いられたりしています。また、グランドカバーや庭木の下草、添景樹にも用いられています。

ナンテンの仲間にオタフクナンテンがあります。 背が高くならない小低木で、普通のナンテンに比 べて色づきやすく、きれいな紅葉がみられます。 店舗や事務所、公園などの植え込みに用いられて おり、鮮やかな赤色になっているのをよく見かけ ます。ほかにはヒイラギナンテンがあります。葉の 縁がヒイラギの葉のようにトゲ状になっているの が特徴です。ナンテンと同様きれいな紅葉がみら れます。民家の庭などによく植えられています。

紅葉する樹木の多くは落葉樹です。落葉樹は古くなった葉を積極的に壊して、養分を新しい部分に回します。このときクロロフィル(葉緑素)が分解

されるため緑色が消失します。代わりにカロテノイドやアントシアニンなどの色素が生成されるため、葉は黄色や赤色になります。

ナンテンは常緑樹ですが、冬に紅葉します。紅葉の美しさはモミジに勝るとも劣らないくらいです。半日陰を好む植物ですが、日陰や半日陰では冬になっても紅葉せず、葉は緑色のままです。また、肥料分が多く残っている場合も色づきが悪くなります。ところが、寒風や霜の当たるようなところに植えられたナンテンは赤く色づきます。また、鉢植えでは肥料をやらずにおくと肥料切れにより鮮やかに色づいてきます。このことから、ナンテンの紅葉は一種のストレス反応と考えられます。このため、これらのストレスが無くなれば元の緑色に戻ります。

ナンテンはきれいな赤い実をつけ、紅葉も美しく、実には咳止めの効果、葉には殺菌、防腐の効果もあり薬用としても用いられます。

いろいろな楽しみ方のできる樹木です。

#### 園芸販売課

~全国オープン・ラージボール卓球大会~

### 徳島県甘藷消費拡大協議会が「なると金時」を贈呈

10月1日~2日の2日間、徳島市のとくぎんトモニアリーナ(徳島市立体育館)で第10回阿波おどりカップ全国オープン・ラージボール卓球大会が開催されました。

この大会は50歳以上の男女ならだれでも参加できるオープン大会で、国内21都府県から468人の選手が参加しておこなわれました。

競技種目(年齢ごとの混合ダブルス、男子・女子ダブルス、男子・女子シングルス)の優勝者に副賞として

徳島県甘藷消費拡大協議会から「なると金時5kg」42箱を贈りました。

岡山県から参加し、 混合ダブルス140歳



副賞として贈られた「なると金時」

以上の種目で優勝した小橋さんは、表彰式で贈られた「なると金時」をとても喜んでいました。



真剣に試合を行う国内21都府県から参加した選手のみなさん



表彰式で贈られた「なると金時」に笑顔の小橋さん

#### 令和4肥料年度 予約強化推進運動について

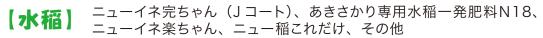


当県本部では、農家組合員への省力・低コスト・高品質生産支援のため、水稲基肥一発肥料、かんしょ・れんこん肥料について、県下全体で推進運動を実施します。また、この運動を通して、予約推進拡大と予約注文書の回収率を高め、JA予約推進業務の強化および系統肥料事業のシェア拡大に取り組んでまいります。

日頃のご愛顧に感謝いたしまして、徳島県内全JAで特別価格にて、推進をおこないますので、早期予約注文・早期予約引取りをお願いいたします。

ぜひこの機会にご利用ください!!

#### 予約強化推進運動 対象銘柄













【かんしょ】ウイルスフリーなると金時、ソイルチャージャー金時、その他









【れんこん】BBスーパーれんこん、BBLPれんこん、一発れんこんピカイチ、オール有機入りれんこん専用686、その他









- ●製造元/徳島県協同肥料株式会社(小松島市和田島町字西浜手10番地25) TEL.0885-38-2201 FAX.0885-38-2203
- ●お問い合わせ/最寄りのJAまたはJA全農とくしま肥料農薬課(TEL.088-634-2502)まで

# 県事業

# 

# ≪肥料価格高騰に直面する農家の皆様を支援します≈

**肥料価格の高騰**による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の 低減に向けて取り組む農業者の皆様の肥料費を支援します。

# 支援の対象となる肥料

**令和4年6月から令和5年2月に注文**した肥料(本年の秋肥と 来年の春肥として使用する肥料)が対象です。

# 申請に必要なもの

🕕 本年秋肥(令和4年6月~10月に注文)、来年春肥(令和4年11月~令和5年2月に注文)の 購入価格がわかるもの**(注文票**など)

本年秋肥と来年春肥は、それぞれをまとめて、別々に申請してください。 注文票のほか、領収書または請求書が必要です

化学肥料低減に向けた取組みに、 

支援②の場合は2つ以上取り組むこと 支援①の場合は新しく1つ以上 (チェックシートで申告していただきます。)

- ・5戸以上の農業者グループで申請してください。
- 農協や肥料販売店などでまとめてグループ申請していただくことを想定して いますので、肥料を購入している農<mark>協、肥料販売店にお問合せ</mark>ください。
- ・秋肥の申請受付締切は、令和4年12月16日です。
- ※徳島県農業再生協議会の受付締切となるため、 農業者の方は肥料購入先にお問合せ下さい。
- ・春肥の申請については、令和5年2月頃を予定しています

## 問合せ・申請先

- 〒770-0011 徳島市北佐古一番町5番12号 JA会館1階 徳島県農業再生協議会
- (受付時間:平日9時~17時) 088-634-2480 電話

#### 2 0 × 支援 4 152 92 当年の肥料費・価格上昇率・使用量低減率 当年の肥料 5層 0.0 農業者 些 秋肥 1,4 ※春肥は、2月頃 、決定予定 増加 尔 条件:化学肥料低減に向けた取組みに その5割を支援金として交付します。 化学肥料低減の取組を行った上で 前年度から増加した肥料費について 新しく1つ以上取り組むこと **【支援①】※11割低減タイブ** 1 当年の肥料費 支援の内容 Ш 支援金

## 2割低減タイプ 支援②】※1

国の事業※2(支援金7割)に申請する方に、 **さらに前年度から増加した肥料費について** 1.5割(合計8.5割)を支援金として交付

支援

7割

囲

扣 分

雫

条件:化学肥料低減に向けた取組みに 2つ以上取り組むこと

国の事業の計画書を提出する必要があります。 ※支援②に申請する場合は、別途、

当年の肥料費

当年の肥料費 Ш 支援金

- 当年の肥料費・価格上昇率・使用量低減率 0.0 秋肥 1.4 ※春肥は、2月頃 、決定予定
- ×0.15
- 支援①と支援②の重複申請はできません。
- 国の事業とは、農林水産省の肥料価格高騰対策事業のことをいいます。 ₩ % %





#### 全国で合計600名様に抽選で4品から1品 選べるギフトカードをプレゼント!

2023年度「旬鮮倶楽部」を年間通じて12か月以上、 2023年1月31日(火)までにご注文いただいた方。

抽選で 300 森

2 WEBアンケートキャンペー

2023年度4月商品に同封する文書の二次元パーコードまたは URLからアクセスし、WEBアンケートにご回答いただいた方。

抽選で 3004

「旬鮮倶楽部」のカタログのご希望、ご質問、お申し込みはお近くのJAへお問合せください



JAタウン 「新鮮士なき徳良



JA全農とくしま YouTubeチャンネル



JA全農とくしま Instagram



JA全農とくしま クックパッド



JA全農とくしま

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋 になります。

#### 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。-

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農とくしま

https://www.zennoh.or.jp/tm/



#### 「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は

無料です。送付先の氏名・住所変更や 送付の停止につきましては、

JA全農とくしま企画管理課広報室

(電話 088-634-2462)

までご連絡ください。

